



栃木県立宇都宮北高等学校

Utsunomiya Kita

High School



【所在地】

宇都宮市岩曾町606

【設置学科】

普通科

生徒数 963名



栃木県立宇都宮北高等学校は、1980年(昭和55年)に創立され、35年目を迎えました。「人間性豊かで、我が国の伝統・文化を理解し、国際感覚をもって社会で活躍する人材を育成する」を教育目標とし、その実現のため、「高い志をもつ生徒」「全力を尽くす生徒」「リーダーとなる生徒」「国際人の資質をもった生徒」の育成をねらいとする取組を行っています。

特色ある教育活動 1

国際理解教育の実施と国際交流の推進

本校では創立以来、IEA(International Education Activities)を行っています。IEAは、外国の生活や文化、日本の伝統や文化、国と国との関係、さらにはルールやマナー、お互いの良さや違いを認め合うことなど、国際理解の根幹にかかわること



について生徒が自主的に研究を進めるものです。とくに、2学年は各クラスの代表が年度末の研究発表大会でその成果を発表します。IEAを通して、将来、国際人として活躍するための、基本的な資質や能力を養い、自己のアイデンティティの確立に繋がっています。

また、隔年で米国のパートナーシップ校(インディアナ州・オクラホマ州)と、オーストラリア語学研修に生徒を短期で派遣し、派遣先の米国の高校の生徒も毎年受け入れています。カナダ、韓国、ロシアなどに長期留学をしている生徒もあり、フランス、中国など海外からの留学生も本校生徒と一緒に学んでいます。

そのほか、世界各国から本校を訪れる高校生との交流、那須塩原市にあるアジア学院との交流会の開催など、本校では、様々な機会を捉えて国際交流を積極的に推進しています。

特色ある活動 2

学力向上への取組とキャリア教育の充実

本校では、広く世界で活躍する人材を育てるため、将来を見据えた学習・進路指導を行っています。入学時実施する「自立学習講座」では、新入生が体育館に一堂に会して各教科の学習法等を学びます。また、夏季休業中に行われる学習合宿、大学



等からの教員による出張講義の実施、各分野からの専門家による講演会の開催等など、早期の学習習慣の確立、継続的な学力の向上、進路意識の醸成を図っています。

